

わくわく！ ドキドキ！ お山を歩こう！ イベント・レポ

小島 武雄

5月28日 Green Gift 地球元気プログラムの一環でもある「わくわく！ ドキドキ！ お山を歩こう！」を開催しました。

最初に千載会長の歓迎挨拶、辻本さんの安全注意の後、NPOセンターの浦林さんの挨拶。2班に分かれて10時からスタンプラリーの始まりです。



まず1番、野菜の名前当て。エコファームでは三瀬さんが子どもたちを畑に導き、生育中のカボチャやシシトウなどを間近で楽しみました。2番、シダの飛行機。四季の丘に上がり、有元さんが事前に用意したウラジロ飛行機を飛ばしました。なかなか上手に飛んでくれませんが、渡されたウラジロがうれしくて離さずに持って行ってしまいました。そこからロープをつかって下る坂は、恐々や、楽々の子も、またやりたいと貴重な経験のようでした。

3番、昆虫クイズ。菊川さんが機関車の上で、まるで紙芝居のようにクイズを出してくれました。



小さい子にもそれなりにクイズを楽しんでくれました。4番、キノコの話。守口さんが高間さんから受け継ぎ上手に話されました。赤いキノコが付いた木の枝を見ると、中にもぎっしりと赤い菌糸が入りこんでいるのを見て、保護者もワッと驚いていました。5番、小羊歯(コシダ)のピョンと大極殿を眺める。山本美智子さんと飯島さんが、小羊歯を細かく切ってピョンと飛ばすと、歓声が上がりました。小さな子は、指の感じがうまく弾けないようです。ここからは遠くに大極殿が見えて保護者の方が楽しそう。6番、アスレティック。松尾さんが安全に見守ってくれました。ロープ渡りは楽しくて何回も

何回も渡り、時間がたきません。7番、野草の観察。緑陰広場では、辻本さんが待っていてくれます。工夫を凝らした、野草カルタは小さい女の子がびっくりするほど素早く探し当ててくれます。保護者もつい本気になるほど、楽しみました。8番、ジュズダマと春の小川。桜木さん用意の原稿を千載会長が慣れない説明ですが丁寧に行いました。すぐそばの小川に笹舟を浮かべると、すうーと流れていきます。うれしくてそばの野苺を乗せている小さい女の子もいました。9番、ビオトープ。田中さんが、ザリガニやメダカを大きなタライに入れて、周りを囲んだ子らに、さわらせてくれました。ザリガニをつかんで、なかなかタライから離れません。

最後は10番、竹林をザワザワ歩く。太田さんお待ちかねでした。きれいに整備された真竹林に入り、竹の説明も少しにして、早速たけのこ掘りです。大人も子どもも歓声を上げて、思いつきタケノコを蹴っ飛ばしていました。これ本当です。飯島さんが作ってくださったスタンプ帳は大好評でした。各ポイントで競うように押していきます。完成スタンプを満足そうに眺めて、大事に持ち帰った様子。



日本NPOセンターの浦林さんも東京から駆けつけていただき、子供たちと一緒に参加され楽しんでおられました。「こんな自然いっぱいの場所で、思いっきり外で遊べて子供たち幸せ、もうマスク要らないですね」との事。アンケートの後、各ポイントでの時間が5分では足りずに予定より伸びてしまいましたが、約20分遅れの12時40分頃にイベントは無事に終了しました。参加の皆さまへお土産はジュズ玉、鹿の折り紙、真竹の筍。スタッフには、子供たちの元気な笑顔がお土産の一日でした。

参加は子供たちと保護者8名、GG担当の浦林さん、準備を含めて当会スタッフ26名でした。